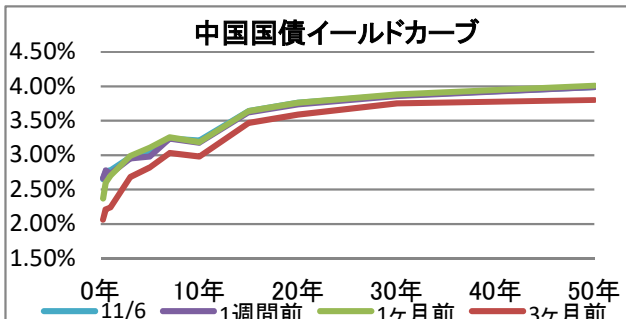
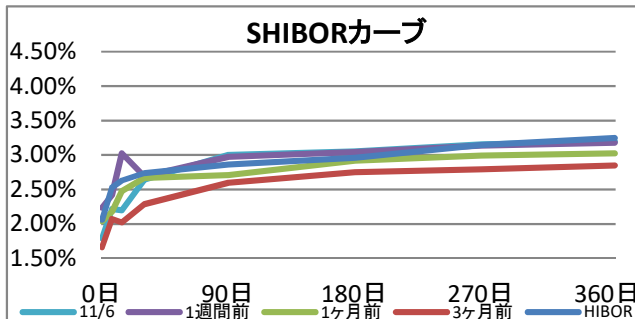


①市場概況

基準レート		2020/11/6	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.6290	-0.0942
	JPY/CNY	6.3908	-0.0360
SHIBOR	3M	3.0010%	+0.0290%
国債利回り	10年	3.21%	+0.03%
上海総合指数		3,312.16	+87.63



(1) 概況

中国金融市場は、経済指標に改善が見られた一方で、世界最大規模のIPOとして注目されたアントグループの上場が延期され、米大統領選の決着の遅れ等が影響したものの総じて安定しており、株高、人民元高、債券安の展開となった。アントグループの上場延期による中国株式市場への影響は限定的で、経済指標の改善と米大統領選でのバイデン氏リードを背景に外為市場では人民元が急騰している。

中国人民銀行は国務院の政策ブリーフィングにおいて、貸付金利の低下等による金融機関から実体経済への所得移転や金融機関の不良債権処理の進捗、シャドウバンキング規制によるリスク軽減等が実現している旨を報告。また、公表された「金融安定報告2019」においても、ネット金融のリスク管理対応の成果や対外開放推進等についても強調している。

国家外貨管理局が公表した第3四半期の国際収支状況によると、証券投資が国外からの中国向け、中国からの国外投資ともに拡大を続け、中国に対する直接投資は純流入の状況を維持している。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日5,100億元、MLF期日4,000億元に対し、新規リバースオペ3,200億元を実施し、差し引き5,900億元を吸収している。中国人民銀行は、今月期日の到来するMLF（15日期日到来分2,000億元を含む6,000億元）について、市場の状況に応じて16日に一括して対応する旨を表明している。

(3) 主な経済指標

財新PMI (10月) は、製造業53.6 (9月53.0)、サービス業56.8 (同54.8)、総合55.7 (同54.5) と、10年来となる高水準まで上昇している。輸出関連の受注にやや減速感はあるものの、新規受注やサービス業を中心とする雇用、先行き見通しが一段と回復している。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.7900%	7.5130%	1.7900%	
1W	2.2150%	2.2150%	1.9000%	2.1000%
2W	2.1970%	2.6000%	2.7000%	2.1500%
1M	2.6400%	2.6400%	2.8000%	2.4200%
3M	3.0010%	3.5200%	4.0000%	3.0300%
6M	3.0520%	3.4000%	3.5000%	3.1000%
9M	3.1530%			3.2000%
12M	3.1990%	4.0000%	3.9000%	3.2000%

中国人民銀行が月初の資金余剰を背景に資金吸収を進めたことから、週後半には資金需給がややタイトとなり、大手行は年末越えとなるターム物のオファーに一段と消極的になっている。ただし、従来よりターム物の出合いは限定的であり、1ヶ月が2.40%を上回る水準で出合っている以外は限定的。

NCDの金利水準も高止まりが続いており、ターム物の金利水準は1ヶ月2.40%前後、3ヶ月3.05%前後、6ヶ月3.10%、1年3.20%での取引が続いている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.02%	0.03%
1M	0.08%	0.10%
3M	0.35%	0.38%
6M	0.65%	0.80%
12M	0.85%	0.95%

市場の資金需給に大きな変化はなく、金利水準も、1ヶ月は0.10%を下回る水準、3ヶ月も0.40%、6ヶ月では0.70%が出し気配となっている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.65%	2.66%	3.01%	3.14%	3.40%
6M	2.76%	2.76%	3.07%	3.23%	3.49%
1Y	2.78%	2.86%	3.14%	3.26%	3.52%
3Y	2.97%	3.04%	3.47%	3.64%	3.98%
5Y	3.03%	3.36%	3.70%	3.95%	4.50%
10Y	3.21%	3.69%	3.98%	4.24%	4.93%

債券市場では、中国人民銀行の金融調節姿勢を受けて短期債利回りが高止まる状況が続き、中長期利回りは利率債が景気回復期待や株高等を背景に上昇する一方で信用債は低下に転じる区々の状況。

イールドカーブは、短期利回りの上昇と中長期利回りの低下により総じてフラットニングし、クレジットスプレッドは利率債利回り上昇と信用債利回りの低下により縮小に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	36.5 / 37.5
1M	184.0 / 186.0
3M	592.0 / 595.0
6M	1002.0 / 1006.0
9M	1370.0 / 1390.0
12M	1773.0 / 1782.0

対ドル基準レートは6.6290と前週末比-429pipsのドル安元高（2018/7以来の高値水準）、対円基準レートは6.3908と同-360pipsの円安元高と、米大統領選挙でのバイデン氏優勢を受けた元高を映じた水準に設定されている。国内市場取引においては、前週に逆周期因子利用中止による一時的な元安から大きく元高に転じており、6.61台まで上昇している。

先物は、人民元短期金利の上昇や国外からの投資資金流入が続いており、直物市場で人民元が対ドルで急騰した週後半以降にスワップ幅が急拡大している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.42%		2.09%
6M	2.45%	3.01%	2.11%
9M	2.48%	3.03%	2.16%
1Y	2.50%	3.06%	2.17%
3Y	2.70%	3.27%	2.35%
5Y	2.86%	3.45%	
7Y	2.98%	3.59%	
10Y	3.13%	3.74%	

短期の基準金利の上昇が一部で低下して頭打ちとなったものの、利率債利回りが上昇したことから、スワップ金利も短期が低下に転じて長期が小幅ながら上昇しており、前週のフラットニングが若干巻き戻される格好となった。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドには大きな変化は見られなかった。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。